

○ 発行額の減額(4,220億円 → 4,120億円)

- ・ 第24回大阪府財務マネジメント委員会で示した大阪府債発行計画(案)において、事業費の増減等に備えることから、配分額を±αとし、確定後フレックス枠で調整することとした。
- ・ その後、事業費の確定による資金需要の減少等があり、2月調達予定の10年定時償還債150億円とあわせて、フレックス枠での発行額は600億円となる予定。

< 第24回大阪府財務マネジメント委員会(令和7年2月5日)時点 >

(単位:億円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合計	
市場公募債	10年	100	100	100	100	100	100	600	100	100	100	100	100	100	600	1,200	2,400
	5年	100	100	100	100	100	100	600	100	100	100	100	100	100	600	1,200	
銀行等 引受債	証券 5年								100						100	300	
	証書								200						200		
フレックス枠		700±α														700	
共同発行債 10年		820														820	
合計																4,220±α	

< 最終見込み >

(単位:億円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合計	
市場公募債	10年	100	100	100	100	100	100	600	100	100	100	100	100	100	600	1,200	2,400
	5年	100	100	100	100	100	100	600	100	100	100	100	100	100	600	1,200	
銀行等 引受債	証券 5年								100							100	300
	証書								200							200	
フレックス枠						100 (10定)	70(15y) 30(20y)	200		200 (20y)	50 (15GB)		150 (10定)	400		600	
共同発行債 10年		100						100	200	100	120	100	100	100	720	820	
合計																4,120	